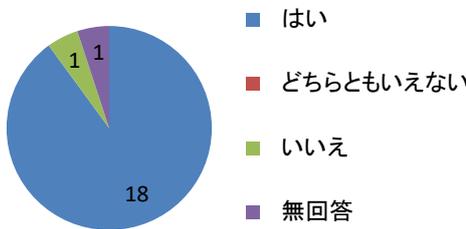


平成29年度 児童発達支援 事業運営に関する自己評価表

回答期間

回答者数:

1. 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。



改善策について

お子様の様子を見て組み分けを行い人数調整を行ったことで、指導訓練室等を有効に活用することが可能になっています。また、指導訓練室だけでなく、兄弟児が学習をしたり、保護者とのフィードバック中に子どもが遊ぶことが出来るスペース等、確保しています。



2. 職員の配置数は適切であるか。



改善策について

市の条例に沿い、適切数の指導員が配置されるよう配慮しています。また、原則として担当制をとっていることから、子どもに一貫した指導を行えるよう配慮しています。お子様の状況、配置の状況により担当を変らせていただくことがありますので、予めご了承ください。



3. 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。



改善策について

指導訓練室は、子どもが目の前の課題に集中できるよう、極力刺激をなくしたシンプルなスペースになっています。その他のスペースは、ドアはノックすることを示した張り紙や部屋の番号を示した張り紙など、視覚的に分かりやすいよう工夫しています。より快適な空間となるよう、生活空間の見直しを更新していけるよう努めてまいります。



4. 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また子ども達の活動に合わせた空間となっているか。



改善策について

毎朝の清掃、物の配置の検討など、より心地よい空間となるよう吟味してまいります。子どもによって活動内容、心地よい空間の在り方は異なると思われるので、その都度、良い空間を模索して参ります。



5. 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか

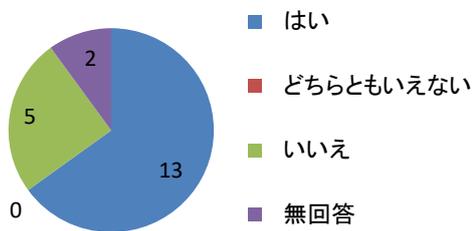


改善策について

常勤、非常勤に関わらず指導員間で話し合いの場を設け、業務改善を進められるよう定期的な全体会議を検討していきます。



6. 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか



改善策について

保護者等向け評価表のアンケート結果を集計し、内容を共有、改善策の検討を行いました。改善策のスタッフへの周知、実施を行い、改善に努めてまいります。



7. 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか



改善策について

評価表の結果をもとに会議を行い、自己評価を行い改善策の検討を行いました。ホームページにて公開しております。



8. 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか

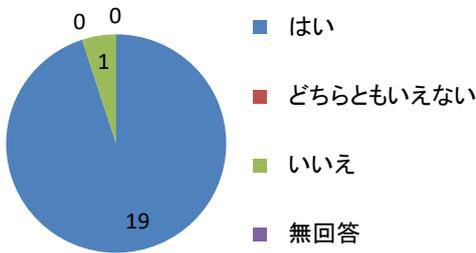


改善策について

定期的・不定期的に行われる外部評価を真摯に受け止め、その内容を職員間で検討することにより、業務改善を図っていくよう努めてまいります。業務が非効率となっている部分を発見し、改善につなげるため、ミーティング等を密に行いたいと考えています。



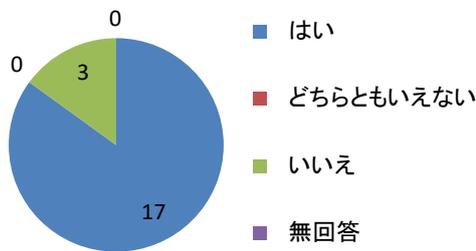
9. 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか



改善策について

外部の講師を招いての研修や、事業所内で専門スタッフによる研修も定期的に行っています。日常の療育内容等に関しても、職員間で共有する時間を設け、資質の向上に努めています。療育時間と被っている場合には、研修の動画を撮影して置き、空いた時間で確認ができるようにしております。

10. アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか



改善策について

療育後のフィードバックおよびモニタリングの実施等を通して、お子様の成長や園、ご家庭での様子を児童発達支援管理責任者と共有しながら、支援計画を作成しております。定期的に子どもや保護者のニーズを把握し、支援に活かしていけるよう今後も努めてまいります。

11. 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか



改善策について

お子様に合ったアセスメントツールを使用しています。社内全体の研修等を通して、そのお子様に合った最適なアセスメントツールを使用していきます。

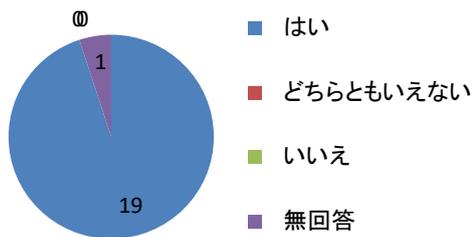
12. 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか



改善策について

6ヶ月ごとに個別支援計画書を作成しております。6ヶ月の長期目標、3か月の短期目標が記載されており、スモールステップで目標に到達できるよう支援方針を細分化し、支援内容を設定しております。

13. 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか



改善策について

児童発達支援計画の内容に沿った支援を行っております。また支援の目的を具体的にお伝えしながら、1つ1つの目標に着実に近づいていけるよう支援してまいります。



14. 活動プログラムの立案をチームで行っているか



改善策について

集団療育だけでなく、個別療育に関しても今以上にスタッフ間での情報共有を行い、多方面の専門職を集い、より良い療育が行えるようプログラムの立案、検討に努めて参ります。



15. 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか



改善策について

現在は、個別療育が主ということもあり、指導員個々人が研修などで学んだことを活かして活動プログラムを考えたり、季節の行事にちなんだ内容を入れたりなど固定化しないような工夫を行っています。今後、スタッフ間同士で情報を共有し活動プログラムを考える時間や専門職との相談の機会等を増やすことを検討し、より様々な内容でアプローチ出来るようにしていきたいと思っております。



16. 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか



改善策について

保護者様と相談し、お子様の状況を見ながら、個別療育と並行して集団療育も行っております。



17. 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか



改善策について

集団療育では支援開始前には必ず職員間での情報共有をおこなっています。個別療育の場合は必要に応じて各スタッフ同士がそれぞれ打ち合わせを行っています。今後、全体共有の時間を増やすことを検討していきます。

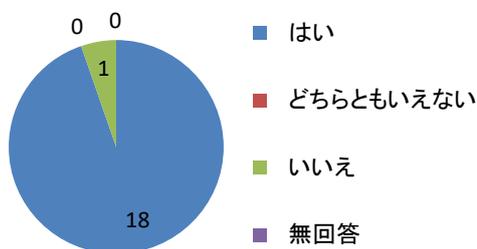
18. 支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか



改善策について

現在、支援終了後に常勤スタッフによる終礼を行い共有を図っています。その際に出た内容を書面で出すことで、非常勤スタッフへの共有を行っています。今後、全体共有の時間を増やすことを検討していきます。

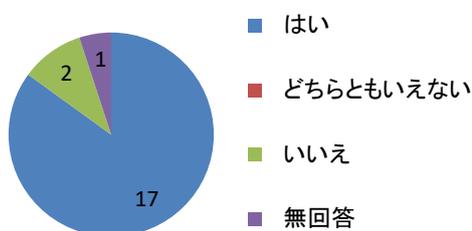
19. 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか



改善策について

毎回の療育に対し、個々人が記録を付け、それを基に次の活動プログラムを考えています。今後は様々な視点から支援の検証・改善につなげていけるよう、記録や支援についてスタッフ同士や専門職と共有できる機会を増やしていきたいと思えます。

20. 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか



改善策について

3ヶ月に1回のモニタリングを行い、児童発達支援管理責任者と担当により共有を行い、児童発達支援計画の見直しを行っています。日程の管理を徹底し、質の高い支援を提供していきます。

21. 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか



改善策について

事前にお子さまの共有を行ったうえで、児童発達支援管理責任者とお子さまの担当者がサービス担当者会議に参加しています。

22. 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか



改善策について

保護者様の了解を得て、療育センターや園と適宜情報共有を行いながら、お子さまへの支援を行っております。ご希望があれば、園訪問などを行って、日々の様子の共有・相談を行っております。

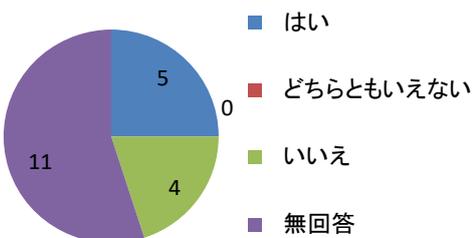
23. (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか



改善策について

入所の際に、お子さまの基本情報として、かかりつけの医療機関を伺っています。

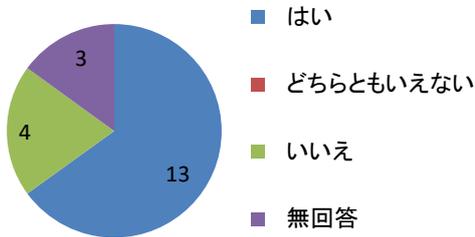
24.(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか



改善策について

お子さまの担当者が窓口となって、協力医療機関等と連絡を行います。その内容は、児童発達支援管理責任者と共有を行っております。

25. 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているのか



改善策について

保護者様からのご要望に応じて、園訪問と言う形で情報共有を図っています。療育のフィードバックの時間を使用して、お母様から園に情報を共有して頂いていることもあります。



26. 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているのか

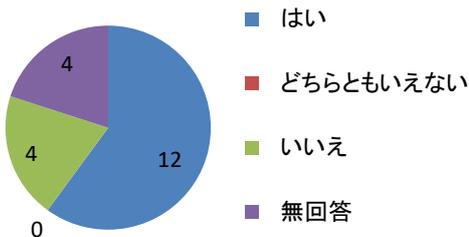


改善策について

保護者様からのご要望に応じて、情報提供書と言う形で情報共有を図っています。療育のフィードバックの時間を使用して、お母様から小学校・特別支援学校に情報を共有して頂いていることもあります。



27. 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか



改善策について

現状、新規のお子さまの受け入れを行う際に、療育センターと情報共有を行い、お子さまについての助言を受けています。他事業所連携は、お子さまのニーズに応じて行っております。



28. 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか



改善策について

児童発達支援部門では、個別療育を主として提供しているため、交流の機会は設けておりません。保護者様からのニーズに応じて活動の機会を検討して参ります。



29. (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか

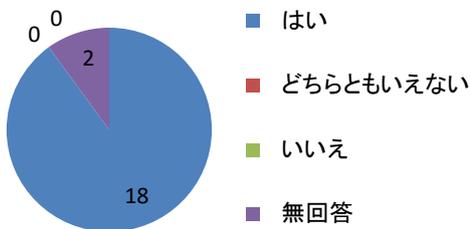


改善策について

児童発達支援管理責任者が会議に参加しております。



30. 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか



改善策について

療育終了後のフィードバックの時間を使用して、今日の様子やお子さまの課題の共有を行い、共通理解を持てるように支援しております。



31. 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか

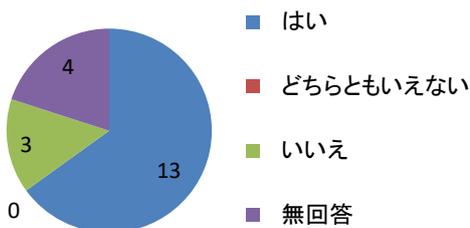


改善策について

現状ペアレントトレーニングは、行っておりません。ただ、保護者様からニーズは上がってきているため、支援体制の構築を行っているところです。



32. 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか



改善策について

利用契約の際に、児童発達支援管理責任者から説明を行っています。また、開始後に上がった疑問点などに関しては、指導担当が説明を加えると同時に、適時、児童発達支援管理責任者も相談に応じられる体制を設けています。



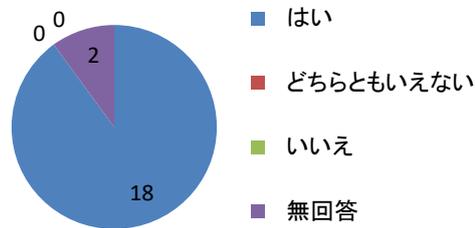
33. 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか



改善策について

お子様に合わせたアセスメントを元に、長期目標と短期目標を設定した、児童発達支援計画を策定しています。

34. 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか



改善策について

フィードバックの時間を使用して適宜お悩みに対して助言や支援を行っております。必要に応じ、心理面接を行えるよう体制を整えてまいります。

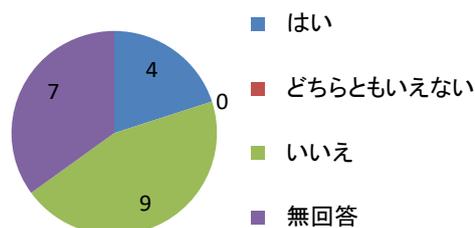
35. 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか



改善策について

保護者様主催の会にて講演会を実施させていただきました。今後、保護者様との連携を強化し機会を増やしていきたいと思っております。

36. 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか



改善策について

保護者様から相談や申し入れがあった場合には、必ず児童発達支援管理責任者に報告を行い、対応を行っております。

37. 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか



改善策について

現状会報の作成は行っておりません。今後検討してまいります。



38. 個人情報の取り扱いに十分注意しているか



改善策について

利用者様の個人ファイルは、鍵付きのロッカーに保管してあります。園訪問やケース会議等で、資料の持ち出しが必要な場合は、個人が特定される情報は削除し、会議終了後には速やかに削除しております。



39. 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか



改善策について

指導員は基本的に担当制としており、おさまが安心して療育に取り組める環境設定を行っております。重要事項に関しては、児童発達支援管理責任者より個別にお話をさせていただいております。



40. 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか



改善策について

利用者様が利用されている園にて、講演会と相談会を実施しました。今後もこうした機会を積極的に作ってまいりたいと思います。



41. 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。



改善策について

労働安全衛生法に基づく安全管理体制に付随した防災会議を毎月開催し、児童発達支援ガイドラインと重複する部分について、特に重点的に話し合っております。各種マニュアルについても有識者の意見を参考に、あらゆる状況に備えたものを作成し、保護者様にご説明していきます。AEDは現在設置しておりませんが、早急に設置いたします。



42. 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。



改善策について

職員間では防災訓練を行っており、非常時に備えた対応の確認をしています。今後、勤務日数の少ない非常勤の職員や、全ての曜日の利用者が避難訓練を受けられるように日程調整を行っていく予定です。



43. 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。



改善策について

入所の際に、成育歴を記入して頂き確認出来るようにしています。



44. 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。



改善策について

入所の際に、成育歴等を記入して頂き確認出来るようにしています。事業所内で食事の提供はありませんが、万が一に備え、保護者には医師の指示書を提出して頂き対応出来るように努めていきます。



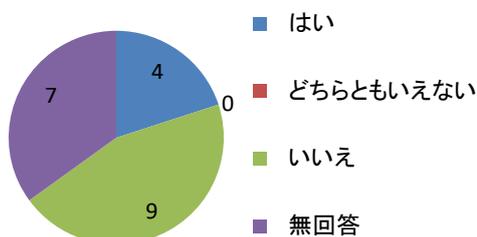
45. ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。



改善策について

怪我や危険な場面があった際にはヒヤリハット報告書を作成し、職員間で共有できるようにしています。今後事業所全体での共有機会を増やしていきます。

46. 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。



改善策について

療育の様子は、モニターやマジックミラー越しにご覧いただいています。日頃から子どもとの関わりや悩み等、担当が一人で抱え込まないように職員間で情報を共有出来るようにしています。今後、研修等にも参加できる機会を設けていきたいと思えます。

47. どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。



改善策について

今後事業所内で話し合いを行い、職員間で共通の認識が出来るようにしていきます。保護者へは、入所の際に十分な説明を行いご了承頂くとともに、児童発達支援計画書への記載を徹底出来るよう努めていきます。